

平成27年度 鳥取大学地域学部入学試験問題

(後期日程)

総 合 問 題

(地域学部 地域教育学科)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は4ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

問題 I

次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

[出典] 広田照幸著『教育不信と教育依存の時代』紀伊國屋書店、2005年

問1

本文を読んで、今日の教育に関するマス・メディアの取り上げ方について、著者の考えを300字以内で述べなさい。

問2

著者の考えとは異なる立場から意見を述べるとすれば、どのような論を展開することができるか、400字以内で述べなさい。

問題Ⅱ

図1、図2は OECD（経済協力開発機構）による15歳の子どもの対象にした国際的な学習到達度評価（PISA）の結果である。これらのデータをもとに、以下の間に答えなさい。

問1

日本の子どもの結果の特徴について、他の諸国と比較して、200字以内で述べなさい。

問2

問1で述べた日本の子どもの特徴に影響する要因について、あなたの考えを400字以内で述べなさい。

(注)

図中の「自信指標」「興味指標」「自らの将来との関係把握指標」は、各設問に対する肯定的回答（全くそう思う。そう思う）の OECD 加盟国平均を 0.0 として算出されたものである。

「自信指標」＝「理科（数学）の内容ならすぐに理解できる」など 5 項目の設問に対する回答に基づく。

「興味指標」＝「科学（数学）についての本を読むのが好きだ」など 5 項目の設問に対する回答に基づく。

「自らの将来との関係把握指標」＝「理科（数学）」の科目を勉強することは、将来の仕事の可能性を広げてくれるので、私にとってやりがいがある」など 5 項目の設問に対する回答に基づく。

(資料出所)

OECD 2007 *PISA 2006: Science Competencies for Tomorrow's World, Volume 2: Data.*

国立教育政策研究所 2013 OECD 生徒の学習到達度調査～2012年調査分析資料集～。

これらのデータをもとに、国立教育政策研究所生徒指導研究センター「キャリア教育は生徒に何ができるだろう？ 01 データが語る生徒たちの今」を参考にしてグラフを作成した。

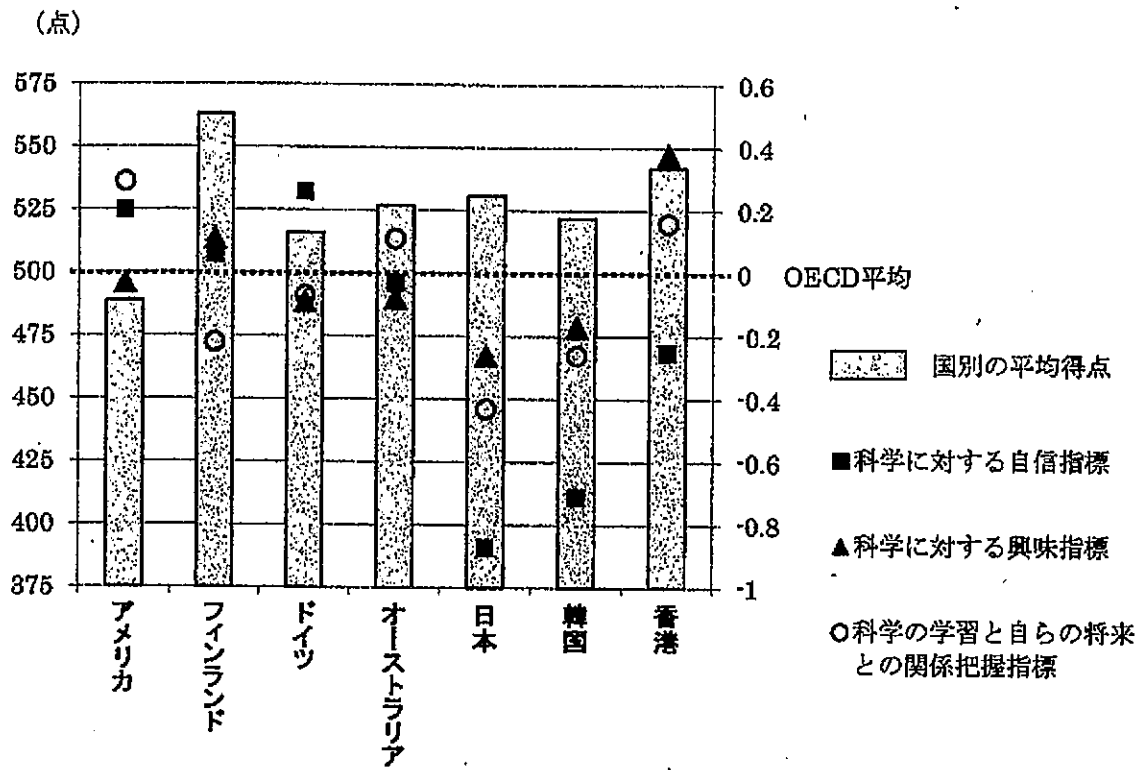


図1 科学的リテラシーの結果 (PISA2006年調査)

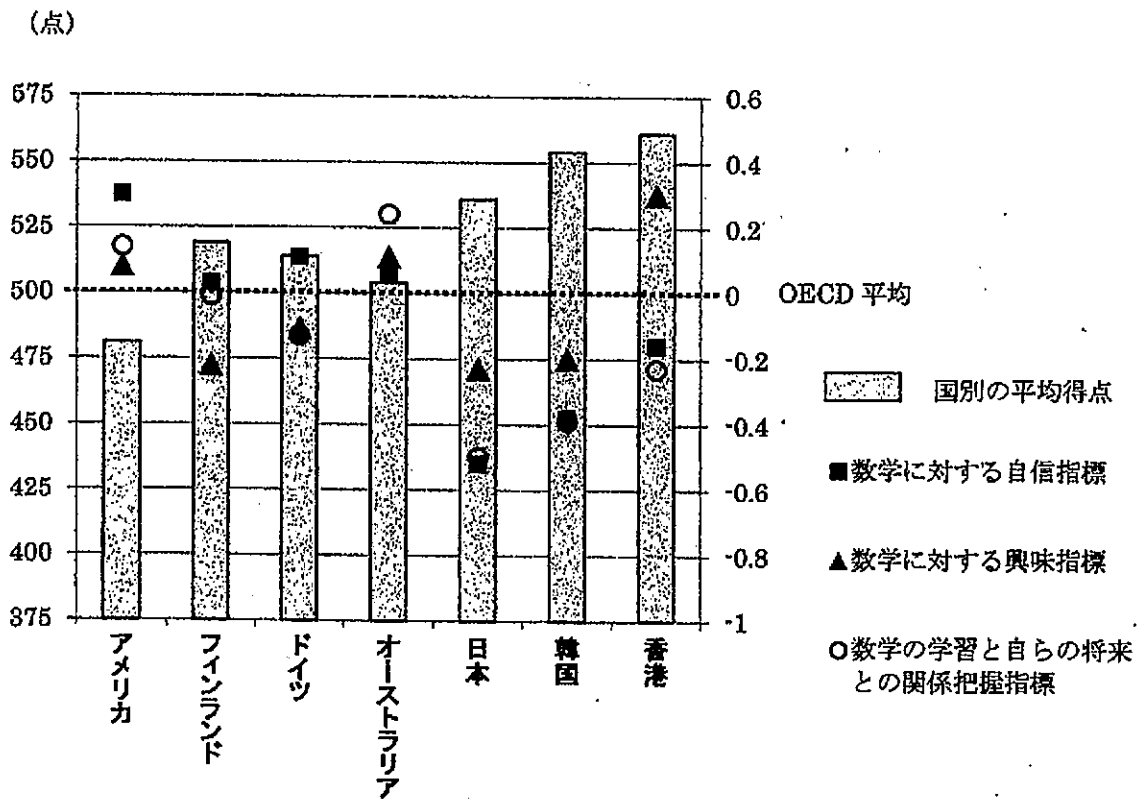


図2 数学的リテラシーの結果 (PISA2012年調査)

問題訂正

後期日程

地域学部地域教育学科 総合問題

(9時30分から11時00分)

問題訂正

問題 I 2 ページ

12行目

(誤) . . . フリーライターであれ . . .

(正) . . . フリーライターであれ . . .